

令和4年度東日本大震災風化防止イベント

羽生結弦さんメッセージ

フィギュアスケーターの羽生結弦です。

私は仙台のスケートリンクで練習している最中、震災に遭いました。

普段滑っている氷とは思えないほどに波を打ち、
建物のきしむ音や窓やガラスの扉が激しくぶつかる大きな音。

そして、壁が大きくずれる音の中、
リンクの中央で天井からの落下物に注意をしながら揺られていました。

自宅も大きな被害を受け、生活するという当たり前のようであったことが、
難しいことへと変わっていきました。

そんな中、リンク周辺などのお店の方々に、
食料や水、電池などの様々な物資を買わせていただいたり
分けていただいたりしました。

その中に被災した人間同士の繋がりを感しました。

また、避難所での生活を支えてくださった先生方や
給水車で水を運んでくださった方々の優しさを感じました。

あの時、自身も被災した直後にも関わらず、
これからどうなってしまうのかも分からない中で、
支えてくださった方々に、いくら感謝してもしきれません。

本当にありがとうございました。

私自身、できる限りの支援金を、宮城県や仙台市、
そして、被災した仙台のスケートリンクに寄付させていただいております。

私の力は小さいと思いますが、少しでも貢献していけるよう、
これからも継続的な活動を続けていきたいと思っております。

これまでもたくさんの支援をしていただき、
一人の宮城県民として本当に感謝しております。
ありがとうございました。

そしてこれからも、自然がきれいで海が豊かな東北の地に、
人の繋がりや優しさが溢れていくことを願っております。